



第26-29号

2026年10月15日

関係者間の情報共有を支援、登山道管理の属人化解消に貢献

登山道管理ソリューション「PATRAIL」が2026年度グッドデザイン賞を受賞

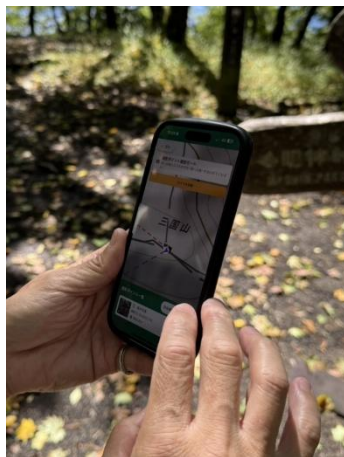
～現場業務に沿った使いやすさと、管理情報を「共同の知」へつなぐ仕組みが評価～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：鈴木 滋）が提供する登山道管理ソリューション「PATRAIL（パトレイル）」は、2026年10月15日（木）、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2026年度グッドデザイン賞」を受賞しましたのでお知らせします。

今回の受賞では、現地で撮影した写真や位置情報を管理台帳に自動でひも付けるなど、現場の業務に合わせた使いやすさを追求していることに加え、担当者ごとの経験や知識に依存しがちであった現地状況の記録や点検結果、修繕履歴の管理について、過去の対応や判断の根拠も含めて共有・活用できるようにした点を評価いただきました。個人や組織に蓄積されていた知見を「共同の知」として活用いただくことで、担当者個人の経験や知識だけに依存しない登山道管理につながります。



PATRAIL を使用した点検の様子



GOOD DESIGN
AWARD 2026

グッドデザイン賞 Gマーク

PATRAIL は、登山道の点検・巡回時にスマートフォンアプリで取得した位置情報や現地の写真・動画などを、WEB システム上の登山道管理台帳に自動でひも付け、点検履歴や修繕履歴とあわせて一元的に管理できるシステムとして、2026年5月に提供を開始しています。蓄積した情報を、登山道管理者となる自治体や、山中で作業を行う担当者などの関係者間で共有・活用することで、現地状況の把握や修繕計画の策定支援などの登山道の管理・保守業務を効率化します。

登山道は、登山者の安全や地域観光を支える重要な基盤です。その点検や管理、実際の修繕においては、国や自治体、民間事業者など複数の主体が関わることも多く、関係者間の情報共有が欠かせません。そのようななか、広範囲に及ぶ山中での現地状況や点検結果を正確かつ詳細に記録し、その情報を整理・集約したうえで共有するまでには多くの時間を費やしている実態があることを、登山道管理者との意見交換等を通じて把握しました。

PATRAIL は、こうした課題の解決に向け、沿線に多くの登山・観光資源を有する当社が登山道管理者との意見交換や実証実験を重ねながら開発したソリューションです。現場の情報を関係者間で共有・活用できるようにすることで、担当者個人の経験や知識だけに依存しない継続的な登山道管理を支援しています。

当社は今後も、PATRAIL の機能向上と活用拡大を通じて登山道管理者の業務を支え、自然環境の保全と持続可能な山岳観光の実現に貢献してまいります。

(参考 1) グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みです。60年以上にわたり「Gマーク」とともに広く親しまれながら、デザインによって、暮らしや社会をより良くしていくための活動をしています。

(参考 2) 審査委員からの評価コメント（原文のまま）

徹底的に登山道管理者の目線に立って使いやすい UX を実現している部分が高く評価された。複数の行政機関、複数の管理者によって、それぞれのやりかたで行われてきた登山道管理を、UXによって、業務の属人化を解消し、共同の知へと接続している。今後、この仕組みが広がっていくことで、登山道の管理・整備がさらに進み、またその担い手となるハードルも下がることを期待したい。

(参考 3) PATRAIL について

1. サービス概要

- ・ PATRAIL（パトレイル）は、自治体や事業者等が行う登山道の管理・保守業務を支援するソリューションです。2026年5月にサービス提供を開始しています
- ・ 登山道の点検・巡回時に、スマートフォンアプリを活用して取得した位置情報や画像、動画などの現地情報を、WEB システム上の登山道管理台帳に自動でひも付け、点検履歴や修繕履歴とあわせて一元的に管理します
- ・ 点検結果や作業履歴などのデータを WEB システム上に蓄積し、必要な情報を整理・抽出しやすくすることで、整備計画の策定など、登山道の管理・保守業務の効率化や関係者間の円滑な情報共有を支援します

2. 実証実績・開発

＜山梨県との実証実験＞

2024年11月から2025年2月まで、山梨県内の登山道において実証実験を実施しました。登山道の損傷状況や管理情報のデジタル化、スマートフォンアプリを活用した情報共有の有効性などを検証し、登山道の管理業務における課題の把握とサービス開発に活用しました。

＜箱根町との実証実験＞

2025年3月から、箱根町の協力の下「登山道維持管理 DX システムの書類自動生成機能に関する実証実験」を実施しました。現場で取得した情報をもとに、作業指示書や作業報告書等を自動生成する仕組みを検証し、管理業務のさらなる効率化に向けた機能開発を進めました。

＜自然公園管理機能の開発＞

2026年10月から、登山道以外の箇所を確認した事象も記録・共有できる新機能の開発に着手し、自然公園の管理・保守業務への活用範囲拡大を進めています。（[小田急電鉄：ニュースリリース](#)）

3. お問い合わせ

PATRAIL ホームページ「CONTACT」 <https://www.odakyu-patrail.com/>

(参考 4) 開発協力先について

インフォアース株式会社 <https://www.infoearth.co.jp/>

（所在地：東京都千代田区九段北4-3-14 市ヶ谷ガラスゲート3F）